

当社取締役会の実効性に関する自己評価結果（概要）

メディカル・データ・ビジョン株式会社

当社は、企業価値の継続的な向上のため、コーポレートガバナンス体制の強化と充実が経営の重要課題と認識し、コーポレートガバナンスの充実に努めております。

当社は、毎年度、独立社外取締役を中心として構成される指名・報酬・評価委員会の助言・提言のもと、取締役会全体の実効性について、分析・評価を行うとともに、その結果の概要を開示することとしております。

この度、2025年度に開催された取締役会について実効性の評価を実施し、その結果がまとまりましたので、以下のとおりその概要を報告いたします。

1. 評価方法

2025年度の取締役会評価は、客観性を担保し、さらなるガバナンス向上のため、独立した第三者機関を起用して実施しました。

- (1) 第三者機関が全取締役及び全監査役に対しアンケートを実施。

実施期間：2025年12月

質問概要：①取締役会の構成、②取締役会の運営、③経営戦略・経営計画、④内部統制・リスク管理、⑤指名・報酬、⑥社外取締役のパフォーマンス、⑦取締役・監査役に対する支援体制、⑧トレーニング、⑨株主（投資家）との対話、⑩自身の取り組み

- (2) 第三者機関より受領した報告書に対し、指名・報酬・評価委員会の助言・提言のもと、取締役会において、分析及び自己評価を実施。

2. 評価結果の概要

評価の結果、各評価項目において、当社の取締役会は概ね適切に機能しており、取締役会の実効性が確保されていることを確認しました。

2024年度評価において課題となっておりました項目のうち、「指名・報酬（後継者計画）」、「トレーニング」については、2025年度に対応した結果、改善されておりました。

一方、取締役会の実効性をさらに高めていくために取り組むべき課題として意見が出されており、各評価項目における課題及び対応は以下のとおりです。

- (1) 取締役会の議論（経営戦略・経営計画に関する審議及び、進捗状況のフォローアップ）

（課題）

- ・経営計画・経営戦略、新規事業、M&Aの検討・実行における十分な議論、及び自由闊達な意見交換の不足

（対応）

経営計画・経営戦略、新規事業、M&Aの検討・実行にあたっては、一層の議論の充実を図っていく必要があると認識しております。事前の情報提供の拡充、及び審議内容に合わせた柔軟な時間の確保を進めてまいります。